THE WOMAN'S WEEKLY
第三巻 第四十九號
大正六年十二月七日發行（毎週金曜日發行）
大正四年十一月四日 第三種郵便物認可

目次

□今年の婦人界（上）……小橋三四子
□時事週評……
□女子に獨創乏しき所以……長井博士
□私の一日「前田珍男子氏夫人」……記者
□我が大日本に生れし運命……服部他助
□變つた家族……佳子
□逝ける荻岡女史……三四子
□婦人界開拓者の家庭訪問「澤柳博士と其家庭」……記者
□美の命數……廣田花崖
□オハナシ「自然兒」……琴子
□帶止と羽織紐……大塚一志
□具合のいゝ肌付……
□安價洋食料理……手塚かね子
□小說「彼と彼女の心」……久野[illegible]子
□飾窓覗き……記者
□傾聽すべき音樂……愛城生
□時事……編輯室より

定價一部四錢五厘 郵税五厘
婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十二月一日より

歳暮年始御贈答品賣出し

十二月一日より
同　七日まで
三越繪畫展覽會

十二月一日より
羽子板陳列

十二月一日より
格安反物賣出し

十二月十日より
同　廿五日まで
新年用食器陳列

東京

三越呉服店

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

今年の婦人界（上）

國家問題は同時に婦人の問題

口經濟界の亂調子

何人にも今年の印象として强く刻まるゝものは、經濟界の亂調子であります。正貨の流入夥だしく、國としては俄かに富力の膨脹を來し、一時天井知らずの暴騰を來したる物價は、調節令出でゝもなほ前年の三四割方の騰貴を示して居ります。次で補助貨幣の缺乏は、金を持ちながら不自由する奇觀を呈しましたが、小紙幣の發行と共に、徐々秩序を恢復して來ました。只なほ富力が一方の手に集まつて、中產階級は、物價騰貴に苦しめらるゝ事、日を逐ふて甚だしき有樣であります。

口物價騰貴と日常生活

而して經濟は日常生活と最も密接な關係を持つ處より、我が婦人界は、經濟の壓迫を受くる事が甚だしいのであります。然し歐米の社會が、戰時の經濟として、食糧節減の聲喧しく、上下心を併せて實行に努力するが如き、目ざましき活動は、一つも我が社會に起らぬのは、不思議の感が起ります。或る一部の人によりて、御用聞き廢止、市場の開設等が叫ばれますが、未だ一つの相呼應した婦人會さへあるを見ないのであります。其の他食糧節減にしても、僅かに經濟料理を工夫し、節儉を勵行するに止つて、根本的の食糧節減問題として、禁酒の問題や食・物改良の問題の大に起らぬのは、聊か物足らぬ感が致します。

口女　中　難

次で著しく感ずるは、勞働者階級の勢力を增した事で、各家庭に於ても、女中難を訴ふる聲は、益々劇しいのであります。戰時工業の勃興と共に、工手工女の需要多くなり、わけても工場法案によつて、工女は優待さるゝ處より、比較的自由なく、報酬低き女中の職業を捨て、皆これに走るのであります。遇々女中に住み込まうとする者は、安逸を貪らうとする處から、働かずして俸給のみを望む傾きがあります。而して今日は使ふ人、使はるゝ人の兩階級に、一革新の行はれんとする傾向が見えて居ります。今後使はるゝ人は職業として其の仕事を尊重し、これに應ずる充分の訓練を經なければならぬ代りに、使ふ人も亦主從の關係、嚴然たる階級の別を附するが如き因襲を脫して、同勞者としての尊敬を拂ひ、其の勞力に應じた報酬を拂ふやうに、根底から改善されなければなりますまい。而して女中難は今後愈よ劇しくなつて、主婦の勞力を省く工夫のよい刺戟劑となり、追つて家庭生活の能率增進法等も盛んに研究さるゝに至るでありませう。

口國家問題と我が婦人

近來著しい傾向として、感ずるのは、國家の諸問題が、到底或る一部の政治家、軍人、學者等によつて解決さるゝにあらずして、公衆—勿論貴賤、男女の別なく、同樣に一つの有機體となつて、其の責めを別たなければ、到底完全なる實行を見るに至らぬ問題が、頻々として湧いて參ります。例へば食糧問題は、今後單に家庭の些々たる問題ではなくて、兵器、彈藥と共に擧國一致して心にしめなければならぬ大事であります。女

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

中難も亦勞働者問題と相關聯して、單に婦人のみの問題ではなくして、勃興したる日本の問題であり、其の解決宜しきを得ぬ時は、遂に手足を缺いた頭のみの國家となつて、國力の發展も遂に望み得ぬでありませう。この時に當つて、各婦人は家庭の人と共に、國家、社會の人となる自覺を明らかにしなければなりませぬ。近く起つた婦人會の合同を促したシビックの運動は、今や社會の必要に迫つて居る働らきで、各婦人會が特色を持ちながらも、一方廣く手を携へる事を心掛けたいものであります。我が婦人界は、今や協力して當るべき多くの問題に逢着して居る事を、忘れたくないものであります。

＊ ＊ ＊ ＊ ＊

學界其の他の出來事に就ては號を改めて述べる事と致しませう。（三四子）

時事週評

□增稅案と輿論　三日大藏省の發表した處に依りますと、明年度豫算は經常部臨時部合計歲出入とも七億二千二百五十萬圓で、海軍軍備充實費二千五百四十四萬圓と、市町村立小學校敎員俸給國庫補助一千萬圓が、歲出の最も大なるものであります。而して國防充實の爲めに增加する經費は、增稅と新稅に財源を求むる計畫で、所得稅・酒稅、自家用醬油稅、織物消費稅等の增率、飴稅、清涼飲料稅、戰時利得稅（所謂成金稅）の新設、外に既に一日より實行されたる煙草値上に依る增收、郵便電信料金の引上等がそれであります。同時に從來惡稅として廢止を叫ばれてゐた通行稅は、全廢されるといふのでありますが、輿論は郵便電信料金の如きものを引上げて、既に其弊に狎れたる通行稅を廢止するといふのは、甚だ辻褄の合はぬ事だと云ひ、一般に此際多少の增稅は免れないと認めて居りますけれど、郵電料金の引上には可成り猛烈なる反對があります。

□日本の出兵は如何　今夏以來聯合軍の形勢が日に月に惡くなつて來ましたので、九月頃から佛蘭西、英吉利、亞米利加合衆國等に於て、一部の人々から日本の出兵を促す聲が起りましたが、最近伊太利の敗戰や、露西亞假政府の轉覆、過激派の講和主張に依り、益々窮境に陷つた聯合國は、愈々日本の出兵を要求する聲を大にし、佛國新首相クレマンソー氏の如きは、未だ日本の努力の足らざるを責めたと傳へられました。而して十一月末開かれた聯合國巴里會議に於ては、日本出兵問題が重要なる議題であらうと豫想されて居りましたが、最近の外電は、巴里會議は充分日本の努力を認め日本の出兵の如き不可能の難題を持ち掛けなかつた樣に報じて居ります。曩に米國は鐵材問題を以て日本出兵を釣らうとした如く傳へられ、其後聯合國から我政府にその相談を持掛けたとは想像され、識者は日本出兵の是非に就き、既に屢々意見を發表し、又發表しつゝあります。輿論は大體に於て、歐洲戰線への出兵は輸送其他の點から不可能であるといひ、假令可能なりとしても、今日以上の犧牲を拂ふべからずといふのであります。誠に日本出兵の可能、不可能は別として、日本の大戰參加は、今日英米佛等にて唱ふる如く國際民主主義の爲めではなく、宣戰の御詔勅に明かなる如く、東洋平和の保維にあるのですから、歐洲へ出兵するの義務は無いのであります。

□大阪飛田遊廓許可　一部婦人の年餘に亘り、心血を注いで反對運動を試みたる大阪飛田問題は、遂に其の効を奏せず、許可となり、遊廓設置の運びに至りました。大正の文明に公然人身の賣買を許して怪しまぬことは、思へば不思議な日本であります、私共は社會に向つて、力の限り正義の戰ひを挑まねばなりませぬ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女子に獨創乏しき所以

自由なき所に發明なし

理學博士 藥學博士 長井長義

口聞き捨てにならぬ問題

先日開かれた小學女教員大會に、「女子は研究心、發明心に乏し、應用心に乏し、」といふ三個條を擧げられたといふ事を、新聞紙上で拜見したが、女子は之れを何と考へられるであらう。若しこれを然りとしたならば改めなければならない、承認するとしたならば、依つて來たる原因を考へなければならない。私は之れは容易ならぬ事、婦人にとつて聞き捨てにならぬ問題だと考へる。あの三ケ條は果して事實かも知れぬ。もしさうとすれば理由がある。私は其の理由を知つて貰ひたい。

口東洋流の學風

私の考へでは、此の三個條は獨り女教員には限らないと思ふ小學校の男教員に於ても、五十歩百歩で、同じく此の缺點は持つて居る樣に思はれる。其の原因といふのは、其の人達の罪では無く、日本の習慣的教育思想にあると申してよい。我々日本人は維新前に於ては、專ら支那流の學風に據つて居た。支那流の學問といふのは、「據らしむべし、知らしむべからず」と云ふので、何でも舊來の事を獵つてこれに據らしむるのである。それ故學問をすると云ふ事は既に知れて居つた事を知るのであつて、未だ知らざるところのものを、自ら發見するといふ自由は、一切無かつたのである。維新以來日進月歩の學風が、歐羅巴から輸入されたが、其の學び方は因襲の久しき、矢張支那流の學び方をして、歐羅巴の人々が既に知悉する跡を辿つて知るのを最上の仕事として居り、何等の新知識を開拓する事がない。それ故成る丈け輸入の新刊書を先きを爭つて讀む人を以て、新知識ある人として居る。歐洲戰爭以來、各方面の人から聞く訴へは「戰爭の爲、歐洲から雜誌書籍が來なくて困る」といふ事である。勿論新らしいと思ふ事が、果して新らしいか否かを確めるには、古い書物も、最近の雜誌も調らべる必要があるが、もしもこれ等の書中に記載してない新發見であつたならば、自らの研究の材料として大に喜ぶべきであるが、さういふ考へを抱いて居る人が極めて稀れである。

口根本の改善

偶々因習を脫して、新らしい試みをしやうとすれば、軌道を脫した者として、却つて社會の注目の的となるのである。然し我が日本に於ては、男子は古來自由であるが、女子は凡ての點に於て全く自由を奪はれて居つたのであるから發明心、研究心、應用心も、一層發揮しないのは當然である。小學女教員にかの三個條の疑問を附した人はやはり研究心、發明心、應用心の無い人であつたらうと思ふ。如何となれば、少しく今日の女教員の狀態を研究したならば、かういふ問題を持ち出す迄もなく、婦人に自由を與へない結果であるといふ事が解つて、改善するに根本的に凡ての自由を與へよといふ事を發明すべきであらうと思ふ。自由の無き處には研究心も發明心も應用心も到底其發達を望み得られぬのである。

口我が青年時代と蘭學

然しこれは何人の罪でもなく東洋學風の缺陷であつて、さう知つた以上は、一日も早く病源を除く事に務めなければならぬ私が西洋の學問を初めたのは、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

四

どういふ動機によつてゞあるかを序に述べて見たいと思ふ。私はもと醫者の家に生れ、長じて漢法醫を所謂東洋風の學風によつて學んだ。十七歲の頃に藩主蜂須賀侯―現侯爵の父君―が、時勢に見る所あつて、藩中の有爲の青年に蘭學を修めさせる事となつた。これは舊幕各藩中、最も早い企てゞあつた。當時私も選ばれた青年の一人であつたが、私は「夷狄の學問は日本人として爲すべき事でない」と、まだ未熟の青年乍ら、藩主の好意に對して聊か不滿の念を抱いてこれに應じなかつた。他の青年等は直ちに塾に入り和蘭學を學び初めたにも拘らず、私は頑として入學しなかつたので、父迄も他から種々の攻擊を受け、心配をさせた位であつた。而してどこ迄も漢學でなければ用を爲さぬとの確き信念があつたので、苟も漢學の先生と云へば、師事すると否とに拘らず、孔子の代表者の如く有難く信仰して居つた。

□火繩砲と小銃

一日畏敬せる漢學者を訪問すると、その客間の床の上に、和蘭製の小銃の仰々しく飾つてあるのを見て、瞬間に、嘆息と憤慨の情が勃發した。其の日幸か不幸か先生は不在であつたので直ちに辭し歸つたが、以後二三日間は煩悶懊惱して、考へ込んだのであつた。今日迄最も崇拜せる鎖國攘夷論者の先生が、口には立派な議論を稱へながら、夷狄の製した小銃を、一家の最も神聖なるべき床上に、有難さうに飾つて居るとは、何と云ふ言行一致せぬ不屆漢であらうか、これを默許しては、却つて自分の本心にも戾ることであると思ひ、靑二才の自分が、崇拜する先生に異議を申すは無禮とは考へたが、思ひ切つて再び先生の許を訪ふて面會した。そして云ふやう「これ迄は先生を孔子の如くに尊敬したが、言行一致を缺く點を見て、悲しい哉崇拜の念を奪はれて終つた。それで今日限り、お別れを告げに參つた」と申すと、先生は「それは如何なる仔細あつてか」と尋ねられたので、云々の事と前日の所感を飾り無く申立てた。すると先生は喜んでか嘲つてか、呵々大笑されて「お前の考へは一應至極尤もであつて喜ぶが、其處が青年である。私の行ひは決して平生の意志には反して居らぬ。あの小銃を從來の火繩砲に比べて見よ、その鋭鈍は雲泥の差である。今假りに敵は鋭利な砲を以て射擊するとしたら、鈍い不便な火繩砲を以てこれに當る時は、勝敗は火を見るよりも瞭かである。敵を征する爲めに夷狄の武器を以てするは、軍法に於ても例ある事で、古來降參した兵は、忽ち味方の軍勢に使用したではないか。今余が夷狄の武器を尊ぶとも決して鎖國攘夷の精神に戾る事はない。それ故屢々お前にも勸めるやうに、他の青年と共に和蘭の學問を修めるがよい。和蘭の言葉に通じて第一敵情を知り、敵國に於て我々の從來行へる所のものより、よりよきものがあれば、それを取つて用ふる事は、決して我々の鎖國攘夷の趣意に違ふ事ではなく、却つてこれを正確に鼓吹する事である」と云はれた。

□舊慣を捨つる困難

此處に於てか我が考への誤れるを悟り、飜然改めて以後は、其の趣意を今日に至るも少しも變へずに自ら行ひ、人にも獎めて居る一事がある。それは日本の舊慣が外國の習慣と比べて、國家に不利益と思つた時には、如何に舊慣を捨つるのが困難であつても、國家の爲めに廢さなければならぬといふ覺悟である。只この覺悟が常に充分自分に出來つゝありや否やを心配して居る。我々が進まうと思へば、誠に苦しく、遺憾乍ら慣れた習慣に別れを告げなければならぬ。發明、發見、進步は、新らしい事を見出して、これに移

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つて行くのであるから、困難には違ひない。例へば服装の一事でも、どうしても長い袖、開いた裾は不自由であり、風儀の上にも面白からぬを知つても、これを改良して洋服にすれば、人は突飛な婦人であると云ふ。小笠原禮式を今日その儘日常に行つたら、却つて滑稽であらうが、何處の女學校にもこれを教へる爲めに、他は皆椅子テーブルにも拘らず、畳敷きの室がある、禮の精神だに充分あらば、其の形式は寧ろ時勢と共に變遷すべきであるが、形骸を捨てる事が却つて困難なのである。其の他無形の思想に於ては一層劇しく年と共に新らたまらずして、年を經るに從つて、頑固、保守に傾くものが多い。婦人の進歩を冀つて、幾多の人が尊い生命と財力とを抛つて居るに拘らず、其の効果の餘りに僅少なるは、畢竟新らしきに就く精神が養はれて居らぬ爲めである。我々は舊慣を捨つる事がいかに困難であつても、國家の爲めに有益な新らしい事を發見し、發明し、これを應用して行く事を鼓吹しなければならぬのである。

私の一日 (九)

前田珍男子氏夫人

▲駿河臺の小高い丘に、めまぐるしい電車のきしりから、横丁を曲つた所、右手に聳り立つ眞白い洋館は、眼科醫の泰斗醫學博士前田珍男子氏のお宅である。お玄關を入ると三疊敷位のコルク敷きの取次がある。廊下を曲つて入ればピアノの据ゑられた應接間がある。滑かなコルクの上に數脚の椅子が整然としてる。雑巾で拭けばきれいになる、大掃除に疊をもたげる必要もない、衛生的で安くて便利だといふ、博士の考案からして、此の邸には疊といふものが見られない。愛國婦人會を生んだ故奥村五百子刀自と共に女丈夫と稱へらるゝ前田たけ子刀自を姉に持つた博士は、又頗る謹嚴な質素な、しかも研究心の深い方である。私は其稱讃さるゝ博士の配偶者である澄子夫人に御面會を申入れた。

▲自らお茶を持つて扉の中に立たれた夫人は、ほんとに平民的な懐かしみの深いお方、細かい縞のメリンスの召物と質素なお羽織、たゞ博士の主張に依つて目鏡の家庭と呼ばゝるゝ言に違はず、夫人

前田澄子夫人

のやさしい瞳にも金縁が輝いてゐた。壁も木もまだ新しいお部屋の中は明るい心地のよい感がせられる。『漸うおちつきましたの』名古屋を出てゝ十一ヶ月目の東京住居を夫人は感慨深さうに御在るのであつた。五人のお子様の母として、忙しい病院の朝夕をひかへて、夫人はかなり、多忙な日を刻んで居られる、『どうしたら私時間の餘裕が作れるでせう、主人がこれもあれもと讀む樣に申してくれますが、其目次さへも目が通せない事がございます』情けなさうに夫人は言葉を切られたが、其眞白いお顔には人なつかしい笑が漂うて居た。

▲そして夫人は更に言葉をつがれた、『私共の樣に忙しい者は生活上に便利な與へて欲しいと思ひます。そこで日本婦人の衣服ですね、私がこれには少からず、雑誌上に於ても皆樣のお說を拜見しましたし、又自分でも考へて見ました。名古屋に居る頃、主人が外國へ往つて留守の頃など、袴を穿いたり、筒袖生活をしてみたりした事もありましたがどうも肩が凝つたりして誠に都合が惡るい事のみでした。それから一つは恥しいといふ弱い心も手傳つたかもしれません、一つひ數年此おた。もとの姿にたつてしまひました。まさか姉の通りを眞似する事も出來ませんし……』と云はるゝ其隣りの椅子には噂の主、たけ子刀自が、例のざんぎり頭に、木綿めくら縞の筒袖姿で、につこり笑つて居られた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

我が大日本に生れし運命
誰れか緊張せざらん（五）

服部他助

口美花を蝕ふ害蟲

此の如く我が社會の各方面に漲る香ばしからぬ都ての現象中今日我が國民の上下一般の精神界に汎濫してゐる「利己的觀念」程我が國の大發展を遂げんとする此の常ならぬ時に際し、大障害となるものは無いと思ひます犧牲の精神を麗はしい花とすれば、「利己の精神」は最も忌む可く、惡む可き害蟲であります。此の恐る可き害蟲にして愈々增殖するに於ては國の美花たる愛國の念も、忠義の心も、奉公の志も、終には蠶食せられて其跡を留めざるに立至る事は明瞭に歷史が我等を訓戒してゐます。

口滅亡前の羅馬

彼の昔日羅馬帝國を廢頽せしめ、終に救助す可からざる致命傷を、彼の國民一般の精神界に與へたものは、乃ち此の同じ忌む可き「自我中心の觀念」でありました。而して我が武士道と均しく、永く羅馬人の精神界の生命となつてゐたストイシズムの精神も、最早人心を救ふ事が出來ませんでした。其の當時の羅馬にては各人に取つて「自我」と云ふものが最上の權威であり、無上の權限でありました。上は最高の貴族より下は賤しい農民に至るまで、外に向つては盛に「愛國」と「忠義」とを鼓吹してゐたに係はらず、實際彼等の拜してゐた神は「自己」でありました。

口この貴重なる言葉

實に「愛國」と云ひ「忠義」と云ひ最も深い意義を含む言葉であつて、眞に國を愛し、眞に忠なる心を有つ者の口より容易に發し得る言葉ではありません。故に我が今日の日本に於て「愛國」及び之れに類する貴重なる意義の含む言葉が、餘りに輕薄に、餘りに多數に使用されつゝある事實は、之れ決して喜ぶ可き傾向でないと思ひます。

口最も要求するは人

今日我が國が最も要求するものは「人」であります、「自己」よりも、より高く、より大なる、一眞理を其の心の奧に抱く人、此くの如き眞理の大なるに比し「自己」の小にして數ふるに足らぬと云ふ事を自覺する人、乃ち己が名よりも、富よりも生命よりも貴く、重く思ひ、之れが爲め必要の場合には喜んで己が生命をも捨てん事を心に願ふ如き顯然たる眞理を心に抱く人であります。之れに反して「自己」なるものが何物も之よりも大に且つ貴く、重く、思ふ人程、今日の日本に取つて、大害をなす人はありません。此くの如き人は「利己」と云ふ目的の遂行を妨げざる限りに於て愛國者となり、博愛者と成る事を希望してゐます。否な、かく呼ばるゝ事を以て自己を利せんとしてゐます。然し我が國民の多數は此の如き僞善者に誤まれる者で無い事は最も幸福とす可き點であります

口偶然の出來事ならず

私は何故に自分は同じ人間でありながら、英にも米にも佛にも獨にも露にも生れず、又た支那にも印度にも生れずして、此の大日本國に、然かも百年前でなく、百年後でなく今の此の非常なる時に生れ出でたかを何時も不思議に感ずる事があります。不思議と思はれる此の事實は之れ全く偶然の出來事であるや否やを疑はずには居られませぬ。而して果して此の事實が全然偶然の出來事でないとすれば、此の自分なる者が日本人たる一人間であると云ふ事に對しては、最も深き意義があるに相違なく、又た一身を擲つて何者かの意義あらしめねばならぬと思ひます。（終り）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

變つた家族

姑は「圖書館先生」　嫁は正宗白鳥氏の令妹

＊

そこは本郷彌生町、極閑靜な邸町の續く通りであつた。古びた門には辻村太郞　も一つ上に辻村靖子と、墨色も褪せた標札が掛つてた。門の中にはさゝやかな庭を前にして、二軒の二階建の家が並び立つてる。私は奥の方の格子戸の前に立つた。二階の一間に通されたのは、それから暫く後であつた。私は暫し若い書生さんの勸むるまゝに座布團に座してゐた。前の床の上には、本居宣長全集とか、國史大全とか、厚ぼつたい重さうな書籍が、ぎし／＼と横並びに金文字を見せてる。こちらの棚の上には、これは又古臭い日本とお漢書が澤山に詰つて居た。ほんとに國學者の居間である。居間の主人は即ち辻村靖子女史其人である。十八年間女子英學塾に敎授をつとめ、女流國學者として聞えてる。女史は又圖書館先生と呼ばれて、彼の學校の生徒間に喧傳せられてる。隣室のしはぶきにそれと知つた私は、圖書館先生の様子を、それからそれと想像してみてた。

＊

襖がさつと明いた時、背の高い五十二三の婦人が欣然と立ち入られた。眞平に質素な飾り氣の無い、けれどもその温顏は、何物をも溶け入らしむるものがあつた。『風邪をひきましてね、なに自分の不注意からです。今日は學校も休んでしまひました』ととぎれ／＼に言はるゝ聲は、かすれた風氣であつた。女史の後ろの方には、珍らしい南瓜が、二つころがつてた。『主人が地質學の研究に熱心でして只今は美術學校へ出て居りますがあんなものが遠方からよく參るのです』女史はかう云つて南瓜の說明をして下つた。女史にはたつた一人の令息がある。『お目にかけませうね』嬉しさうに云つて立たれた女史は、大番の一葉の寫眞を出された。昨年正宗白鳥氏の令妹と結婚せられた令息の新郎新婦のそれである。『まだどちらも學校へ行つて居ります。一人は大學院へ、一人は私の生徒です。聰明な點を見込んだ私は、社會でいふ位置だとか富だとかいふ事は一つも調べずに、たゞ信じ合つて結婚させました。後になつて正宗家が金持だつたといふ事を知つてをかしくなつた位です。そんな事は私共にはちつとも關係のないことです。たゞお互に眞實な生活をしてくれゝば滿足です。白鳥氏の妹だけあつて、嫁は頭惱もよく、氣質も立派な、正しい婦人です。今迄人の事とのみ聞いてた、姑といふ名が、いつの間にか私の上にも被さつて來ました。こんな場合に世の姑達の心が、かうなるのだらうなどゝ、時々思はせられる様な經驗がございますよ』

＊

冷たい觀察的な心持で、女史はなほも言葉をつがれた。『一體異性同志が結び合ふといふのはもうこれ天の法則ですね。息子が母親を懷しみ、娘が父親を慕ふといふのも同理です。私の息子は實によく私に孝行をしてくれます。これは又一種の戀愛とも見られませうが、嫁に愛を奪はれたと云ふ様な一つの淋しい氣分になる事もありうるのです隣の家が息子夫婦の家なのですが、もうお歸りといふ迄も、息子は私の方へ來て居るのでございます。矢張り漢學に依つて育てた故でせう。あれも私と同樣、金に緣の淡い生活をしてゆくの

七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

でせう」母親らしく女史はかう云つて、我子の上を語られた。『世の中の姑が何か學業なり何なり、專門のものを持つてゐたならば、嫁にくつたくをしたり恨まれたりする必要はないのです。私は眞から婦人に專門學科をお勸めしたいと思ひます、』熱心な學者の叫びである。十八年間の數への母、暇あれば其の身は圖書館の一隅に必ず漢籍に耽讀してる。されぱこそ、尊き宮方の御側近く召されて、御教授巾上ぐる光榮を有する方である

『御老女からのです』女史は手箱の中から古風な文體で綴られた、美しい文字の手紙を出された。匂ひやかな紙の面には、大宮人のみやびたる有樣が想像されたゝ『宮樣は勿體ない程、ほんとに情け深い平民的なお方樣です。私の事ですから、野人禮に不慣といふ、今は亡き恩師星野博士のお言葉を其まゝ應用して居る我儘者でございます』から云はるゝ地味な學者らしい女史の權威者、白鳥氏との連結が、一種の御家庭と、華やかな創作界の不思議をさへ思はせた。辻村農園は女史の從兄弟である。其の令弟は、かつて留學中瑞西の婦人と結婚せられ、今は故鄕小田原に、變つた家庭を營んで居られる。私は變つた一族の上を想ひながら圖書館先生の御門を辭した。（佳子）

逝ける蕉園女史

「戀と名と富とは、互に嫉み深い神である」と申しますが、この三つを三十にして成し遂げた池田蕉園女史は、早くも世を去られました。我が藝術界が一輪の名花を失つた事は、返す〳〵も殘り惜しい事でございます。

女史は半面、同情に富み、謙讓の德を供へた眞に美くしい人でありました。女史の逝ける夕、私は書類の整理をしつゝあつた女史よりの來翰を見出して、今更らに名殘の涙をそゝぐのでした。それは嘗て女史の門弟の一人が、父の破產に遇つた折、女史は如何にもして其の苦境を救はんものと、二千餘圓の負債償却の料に數百枚の半切畫を揮毫して、希望者に頒たれた美擧を本誌に掲げると、早速讀者からの申込みを受けた時の禮狀であります。書狀は自ら露草を繪いて、美しい筆の跡でこう書かれてあります。

御忙しきところ御文給はり有りがたく存じ上候いつも週報御送りいたゞきたのしみに拜見いたし居り候。扨〇〇樣よりのかわせわざ〳〵お送り被下有りがたく今日△△氏參られ候まゝ早速おわたし申候御深切樣のほどを△△樣大變によろこばれ申候畫は同氏より〇〇樣へお送り申上ぐることゝ存じ候

まづは日ごろの御禮も申上度とりあへず右のみ申上候

かしこ

遊里

美しい人の美しい情けを暫し見入つた私は、もう既に亡い人といふ悲しみが、心に喰ひ入るのでした。（三四子）

＊　＊　＊　＊　＊　＊　＊

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

澤柳博士と其の家庭

▲女子の爲めに東北大學の門戸を開放せられた、文學博士澤柳政太郎氏は、亦我教育界の權威者である。帝國教育會の全國小學女教員大會に於ける、博士の鮮かな議長振りは、私共の記憶になほ新たである。府下高田村のお寺の屋根の樣なお玄關はつひお向ひの、福島大將閣下のお住居と相對峙して、文に武に共に信州松本市出身の幼な時を語り顏にも思へる。お玄關の次に据えられたピアノは、今は人妻である長女しん子さんの手に觸れたなつかしいものである。現在ある六人のお子さんは、極めて自由に束縛の無い教育法により、庭の芝草、池の金魚、さてはぶらんこ樣々に戯れ遊んで居られる。

▲玄關に續いた廊下に添ふて部屋がいくつも並んでる、一番奥の離れが御隱居所、そこには數年來中氣に惱まさるゝ博士の生母・すゞ子老刀自が看護婦の手により詑しき床に臥して居られる。孝養怠りなき博士は、忙はしき業務のひま〳〵に必ず母刀自の枕頭に、機嫌を伺はれる。政太が政太がと、不自由勝な慈母の口唇には、幼き者の名を呼ぶ樣に、博士の上を氣づかはれるのである。

澤柳博士

▲博士夫人初子樣は、極めて家庭的な婦人である。婦人の會合などには殆んど其の影を見ないけれども決して非社交的の方ではない。相對してお話してる間にも輕い諧謔が口を突いて出る恬淡な、俗にいふ氣のおけない方である。家事萬端から子供の世話で夫人の終日は了つてゐる新時代の流行も夫人自身の上には顧られない。けれども愛する令孃のために、年に幾度か三越へ足を向らるゝ事もある。かつて夫人の胸に最もいたでを負はせたものは、長男勇太郎さんの死であつた。美青年であつた勇太郎さんは、極めて文學好きであつた。高等學校の受驗に忙しき頃、此有爲の青年は、美しき詩と歌とを夢みつゝ、永久に眠つたのであつた。亡き彼の部屋には徒に文學書のみが山を築いてた。父の悲嘆、まして母の悲しみ。雄々しき夫人の心にも時々愚痴やら追想やらが繰り返さるゝのである。

▲とはいへ此悲しみに替ふるに愛孫を得た事は、若き祖母樣と呼ばるゝもいと嬉しげである。木立も畑の作物も平和な海原を見るやうにのどかな高田村の空氣は、鄙びたる中に又高尙である。一名學者村と云はるゝ此村では、浮田博士や澤柳博士が村會議員であるといふのも、面白い現象ではあるまいか。村會議員である澤柳博士は又人も知る成城小學校の校長である。日本唯一の博士の校長樣は、又日本唯一の熱心家である。朝とく夕はおそく迄小學校に通勤して、家に居られる事は實に僅かである。多忙な博士は寸暇を惜しんで筆を執る事がお好きである。博士程序文を多く賴まれる人はない、著述に筆を染められる事も頗る多い。かの「孝道」の如きは孝心深き博士の著にしてこそ世を益すること大なるものである。村住居の一家は裏の畑に大根、芋掘で、黑土にまみれ、食堂の新鮮なる野趣に團欒せらる日が多いのである。

九

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

美の命數（下）

敎育は美の源

廣田花崖

口敎育の無い女

以上にして兎に角、氣候が南方婦人の早老の最大原因であるて云ふ思想は、重要視する必要が無くなつた。けれども氣候は間接には害をなすものである。即ち溫熱は懶惰を促し、必要に迫られねば肉體精神の運動を閑却せしむると云ふことである。蓋し敎育は美を作すもの丶最大因子であつて、新鮮可憐なる妙齡時代を長めるに主要なるものである。而して此敎育と云ふものは從來伊太利の少女は全く受けて居なかつたのである。約十年前のことであるが、ナポリのフアンニー夫人は斯う書いて居る「家にありても、學校にありても、吾等は高尙なる精神的生活に達しなかつた。斯の如き有樣で何うして幸福なる婦人の春笑ふ時——所謂靑春時代を期待することが出來やうぞ。」又他の一記者は「伊太利の少女は撿束が無い。只着物のことばかり苦勞する。其處には眞の家庭生活と云ふものなく、家族の男女が新刊書や時事問題を論ずるやうな機會は全く無い。」と云つて居る歐米兩大陸にある西班牙人も亦同樣の有樣で、ホルトン敎授は「此地に於て老婦人の美しいのが一層普通にならねばならぬ。だがそれは敎育が無くては不可能である。」と云つて居る。

口甘藍は花椰菜に

容姿を美にし若さを永續せしむる敎育の魔術的能力は、印度宣敎師團の第十七年報を見ると最も力強く表はされて居る。該記者は文明と接觸せしむる數年は學校にある印度人を變化せしむるに十分なりと云ひ、更に斯う附加へて居る「彼等は子供として來り、靑年の男女として歸るのであるが、而も其顏を見ると來た時よりも歸る時の方が反つて若く見える。」と。然り「訓練は全部である。桃も嘗ては酸つぱい巴旦杏であつた。花椰菜は只大學敎育を受けた甘藍に外ならぬのである。」

口表情の美

古代希臘の婦人が容色に汲々しつゝ、尙且つ之を速かに失つたのは、敎育を受けなかつたからであつた。ヴィナスの容色も無學の空虛な目玉を附けたら何にもならぬ。ある女の空虛なる目玉と、快活なる顏色との間には、智識と敎育とを預言する甚だしい相違がある。勿論敎育は不容色を改造することは出來ないが、併しそれは單なる容姿より重要であり、且つ永續する表情の美を發輝せしむるのである

口若さと美との永續

斯くして心の訓練は若さと美とを進步させ、永續させるものであるが、過度の勉强はまた勉强しないと同樣に其最後を早める。然し虛弱內氣が女の普通狀態であるが如く思はれた時代は去つた。外氣を浴びること、適度の戶外運動とは、何時と雖必要である。散步よし、乘馬よし、テニスよし、ゴルフよし、而して能ふ限り新鮮なる空氣に觸れ、十分に大食し、其結果として男兄弟の如く健康なる且つ敎養されたる姉妹に充たさる丶家庭にありては、最早男が女よりも美と若さとをより長く保留し得とは云へないのである。

（完）

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自然兒(廿八)

美しい世界(下)

琴子

デビットのヴァイオリンを聞いて居たジョンの驚きは大變でした。其の時用事があつて臺所の方へ行つて居たハアレーの所へ飛んで行つて
「父さん、一體、どうした事です。誰があの子にあんなに彈けるやうに敎へたんです。何のわけがあるんでせう。」
あまりジョンが熱心でしたから、又くわしく初から話してきかせて、それから誰にも解らないあの手紙を持つてきました。
「己達にはちつとも解らないんだが、お前には解るかもしれん」
ジョンは一寸おしまひの名前の代りに書いてある「印」を見て
「エ？誰れも解らないんですつてこれが？コリャ世界中に知れてる名ぢやありませんか。世界一のヴァイオリンの上手な人ぢやありませんか。これが解らないつてどうした事です。」
「エ？だつてどうしてそんな人が又己れの小屋なんかに居たんだらう？」
「そりやすぐ解りますさ。世間ぢやみなこの話は知つてゐますさ。たゞ何にも知らずにこんな處にこんなに長くゐたのが不思議ですよ。僕の友人がよくあの人を知つて居ますつて僕に話してくれたんですが、何でも八年位前に奥さんになくなられて、大變淋しがつて居たさうですが、少しすると其の時四つ位だつた男の子をつれて見えなくなつてしまつたんです。」
「そりや又どうしてだらう。」
「そのわけはみな知つてます。つまり親類や何かが多くて、あの子をちやほやするとせつかく立派なあとつぎにしやうと思つて居るのがだめになるから、姿をかくしたんです。それにあの人は子供は十二迄よく氣を附けて育てゝ置けば、もう大丈夫と言ふ事を信じて居たのです。」
「フーン。さうかなあ。だがなぜそんならもつと解りよく名を書いて置かないんだらう。」
「書かないでもこの「印」があれば誰れでも知つてますから、名前なんか書かないでもいゝと思つたのです。この村の人が一人も知らないなんて實にをかしな話ですね。」
「ウン。さう云へば己れだつて先にそんな話をきいた事もあつたやうな氣がする。」
「しかし、あの子も幸ひでしたよ、變んな人の手には入らないで。だが近い内に送つてやらねばなりませんね。」
「エ？送り出す？己れはいつ迄もあの子を家へ置いておくんだよ。」
「それは父さん出來ませんよ。これでもし一寸でも世間に知れてごらんなさい、世界中の人が父さんの家へやつて來ますよ。あの子には立派な親類もあり、待つて居る世間もあれば金もあるんだ、父さんの思ふやうにやいきませんよ。」
だまつて考へて居たハアレーは、しばらくたつて二階のデビットの部屋へやつて來ました。そしてよく解るやうにわけを話してやりました。
「エ？おぢさん、僕、もつとヴァイオリンをならひに行つてもいゝですか？」「さうだ。」
「そらそれから、おぢさん、あの敎會のオルガンよりもつと大きいのを澤山きく事が出來るのですか。エ？おぢさん。」
「ウン、出來るだらう。」
「そして、ほんとに僕のヴァイオリンの解る人にきかせる事が出來るのですか。」
デビットは無邪氣にかう云ひましたが、ハアレーは前の事を考へて氣の毒さうな顏をして居ました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

帯止めと羽織紐

クリスマスの贈物（四）

口手製の帯止め

新らしい切れならば世話はありませんが、ネックタイの古いので却つて奇麗な帯止めを拵へる事が出來ますから、そのお話をいたしませう。先づネックタイの結び目をほどき、繼ぎ目は波形、藤形何んでも好みの形に切り、合せめは一分五厘ばかり裏に折つて先づ兩方の繼ぎめをくひ合せて紙に貼りつけて置き、乾いた處で裏からかけ縫ひにします。表の縫ひ目が目立つてをかしいやうならば、その表に金絲か銀絲を二本位絲で縫ひ付けるか、または太い絹糸で輪縫ひ、千鳥縫ひなどをします。これは繼ぎめ計りでなく、色のさめた處に、別の切れを面白い型に切つて置き、表から右のやうにして縫ひ付けて置くと立派になります。かうして好みの巾にし三尺五寸計りの長さに二つ折りにして縫ひ、裏返へして兩端は五つ位に縫ひ縮めます。

口羽織の紐

羽織の紐は好みの太さによつて巾も違ひますが、白縮緬の耳で細く拵へたのなどはよいものです。先づ六七寸の長さをとり、上端一寸計りを縦に三つに切り眞中を殘して兩端のは下一分計りを殘して切つて終ひます。これがちになる部分です。殘つた眞中の部分を紙捻のやうに捻つて、糸でかけ縫ひにし、ちに折つて、端をしつかりとつけて置きます。兩端の一分殘した部分は裏に折り、殘りの五寸なり五寸五分なりは、兩端を縦に一分位宛折つてしつかりと鏝をかけて置き、更に三つに折つて合せめをまつり縫ひか絎け縫ひかに致します。下端には共色の絹絲のふさを入れて、きゆつと縛ります。（大妻技藝學校より）

具合のいゝ肌付の拵へ方

これから寒さに向ひ、一番、氣になるのは肌につける防寒物かと存じます。普通の腰卷ですと、どうも前がはだかつて風が入ります。そこで普通の用布で、一寸手をかけるのみですが、先づ後ろの中央をつまんで、下に笹形に三寸許りへ揚げをし、其兩方へ三寸許り離して矢張り揚げをします。都合三つ揚げをして縫目は皆外へ出して兩開きに寢せておきます。紐も端から一寸許り少し下つた處へつけますと大層具合が宜しうございます。揚が斜めにしてありますので腰の處に既くぼみが出來て、決して前がはだかる事もありません。廣く御實驗なさる事を希望いたします。（大妻一恵）

お化粧問答

十二

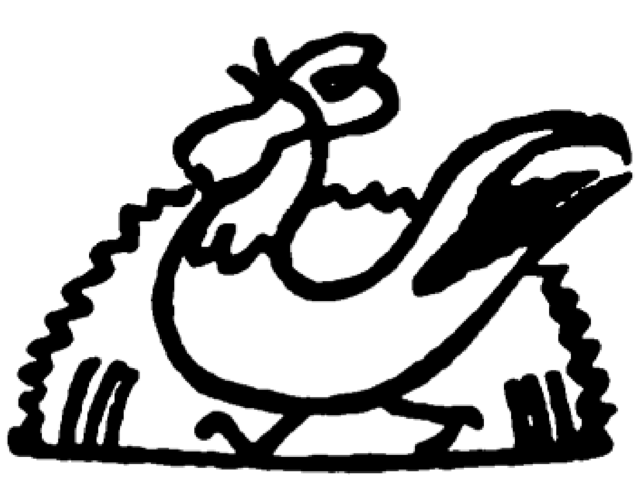
問 顔を洗ふには、石鹸と洗粉と糠の內、どれが一番肌に効目がありますか。（本郷政子）

答 お化粧には先づ地肌を整へるのが一番必要であると云ふ事が、近來一般に知れ渡りましてから、其の美身料として石鹸、洗粉、糠の內、どれが一番よいかと云ふ事に就て、大分議論があるやうですが、此の是非は極めて明瞭な事で、殆ど議論の餘地もありません。即ち、石鹸は垢を流すと同時に、皮膚の脂肪を取り過ぎる缺點がありますから、日本人のやうな脂肪分の少い、殊に御婦人やお子供衆の弱い皮膚には頗る不適當でございます。夫から一寸考へると、糠は適當な美身料のやうですが、質は粗いといふ缺點がございますから、決して理想の美身料と申すことは出來ません。此點へ行くと日新科學の精粹を盡して精製された彼の日本名物クラブ洗粉のやうな高級洗粉が一番肌に適當して居るので、クラブ洗粉は獨特の衛生的美身劑と貴重な香料とを配合してありますから地肌を整へ、天然美を發揮する點に於て、如何なる上等の石鹸も牛乳も到底之に及ぶことは出來ないのでございます。

問 お友達がクラブの乳液を

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



安價洋食料理

手塚かね子

口野菜玄米ミルク煮　玉葱にても小蕪にても、丸のまゝ一寸茹でゝ、玄米ミルクでゆるりと煮て、鹽と胡椒で味をつけますと、丁度コーンで煮たやうな味が出ます。玄米ミルクは一合四錢で、コーンのやうに潰す手間もいらず、値段も安うございますから、便利です。

口ポテト、ボール　馬鈴薯五つを茹で、裏漉にかけ、その中に牛乳五勺許りを入れ、小さい卵を一つ混ぜ、鹽と胡椒で味をつけると、少し黄色味を帶びます。これに芝海老の茹でたのを皮をむいて混ぜると、一寸紅色がまじつて美しくなります。これを大匙に掬つて、牛酪でも豚脂でも、胡麻油でも一寸あげ、これにパセリか人參の葉を添えて出すと、誠に氣の利いたものが出來ます。もしこれをコロツケにしやうと思へば、芝海老を混ぜた處で、小さい蜜柑位に丸め、饂飩粉をまぶし、白味(前に卵子を混ぜる際に黄味丈け混ぜて白味をとつて置く)にころがしパン粉をまぶしてあげます。これで五人分の間に合ひますから、一人前四錢位につきます。

口肉の蕎麥蒸　これは肉を經濟に使ふ上からも、また味の上からも、結構です。先づ引肉に一錢位の古パンの揉んだのを混ぜ、鹽、胡椒で味をつけ、牛乳で少しゆるめます。(牛乳の代りにだしでもよろしい)これを蕎麥饅頭位に丸め、茶飲茶碗にバタを塗り、上這蕎麥を入れ、眞中をくぼませて丸めて置いた肉を入れます。こうして幾つもこしらへて蒸籠に入れて、強い火にかけ、二十分位蒸して皿にあけ、温かい中に、トマトソースをかけて出します。

トマトソースの作り方は、豚の下等な肉十五匁(五人前として)を、細かに刻み、少しの牛脂を溶かして肉を入れていため、茶色に熱し、メリケン粉を入れて、これに、トマトソース(洋食屋にて量り賣にして居ります)を好みのほど入れ、湯を薄い位入れて煮込み、漉して使ひます。粕になつた肉は、またコロツケにでも使はれます。

口剝身のチヤウダー　これはスープとシチユウの代用になる安價なものです。浅蜊の剝身を水たつぷりにしてざつと煮て、身丈けあげて置きます。清汁には玉葱を輪切りにしたのや、馬鈴薯の皮をむき、二分位に切つたのや、人參の程よく切つたのを入れて煮込み、軟かになつた時、鹽と胡椒を入れ、清汁の三分の一の牛乳を入れ、前にあげて置いた身を入れてスープ皿に盛つて出します。剝身を餘り煮ないのは、身が縮まらぬ爲めにです。

口平目蒸し　平目の普通切身を更らに横にそいで薄くし、鹽、胡椒して置きます。別にほうれん草を茹で、細かに刻んで擂鉢にてすり、裏漉にかけ、鹽、胡椒で味をつけ、少しバタを入れて半ば練り平目の肉の上に置いて、柏餅のやうに折り、蒸籠の中にきやうぎを敷いた上に並べて蒸し、ホワイトソースをかけて出します。

ホワイトソースに粉一匙、バタ半匙を鍋に入れてよく混ぜ、粉がいためられた時、牛乳を入れてよく混ぜ、鹽、胡椒で味をつけます。これにはパセリやクレソンを一寸鹽水で洗つて添えます。クレソンは水溜りにはどこにでも見出す草で、少し水のピシヤ〳〵する處に植えて置けば、忽ち殖えます。

附けると色艶が良くなると申しますが、クラブ乳液つてどんなものですか。(芝　きみ子)

答　クラブ乳液と云ふのは歐羅巴の美人郷として有名な維納の或る皮膚科學の大家が發明された純植物性の美身液を主要原料とし、更にクラブ洗粉本店獨特の美身劑と貴重な香料とを配合して製精した濃厚な乳狀の白色美身料ですが、これを皮膚に塗りますと、直ちに毛孔に吸收せられ、皮下奥深く透入して皮膚の滋養となるのみならず、乾風や大氣中に充滿して居る塵埃や煤煙の刺戟に對して皮膚を保護する作用を有つてゐます上に、其の香ひが如何にも柔かで上品ですから御婦人は申すに及ばず、紳士間にも近來非常に賞用されて居ります。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

彼と彼女の心（六）

久野恭子

藍子は應接間の入口で、如何しても夫の顏を見るのが厭であつた。そしてボールが此方を向いて、にこやかに自分を迎へて居るのを見ると、つい引入れられるやうに、夫に眼を向ける前にボールに挨拶して了つた。藍子は彼女の最初の一瞥と笑顏とを、彼女の衷なる眞正の願望を外らして、他の者に與へて了つたのである。それから藍子は自分の椅子に着いて、努めて夫の方に顏を向けた時、彼女は其處に豫期した物を見た。裕次の顏からは笑が消え去り、眼には憎惡の色があつた。藍子は斯う云ふ時の斯うした裕次の心の動き方を、ちつとも無理とは思はなかつた。それは免れ難い愛の法則である。藍子は夫と自分とが自分達以外の他の者を交じへて相見る時、何者にも分たれない、何者にも向けられない最初の眼、藍子の First one glance. は裕次に與へられなければならない、それは裕次の彼女に對する期待であると云ふ事を知つて居るのであつた。のみならず今日此處へ藍子を呼びに寄越したと云ふ事は、昨日の續きの裕次としてはどれ丈努めたしかたであるか、能く了解て居乍ら、彼の示した其和解を完全に受入れる事をせず、彼の期待に背いて滿足を與へなかつた事を思ふと、藍子は今更のやうに自分が憎らしかつた。而して夫に濟まないと思ふ心が一杯に成つて來た。

（藍子には時々斯んな事があつた。今日のやうに知つて居ても出來ないのや、又或時には全く彼女の不聰明な不用意な取り外しから來る事もあつた。）裕次の此表情は、瞬間にみせた藍子への現れであつて、彼は直に自分の態度を持直した。而して藍子に對してこそ直接には餘り口を利かなかつたが、話の奮まない此日の藍子に代つて、能くボールの快活な話し振りに應じて居た。而して、彼のこの抑制のある態度は、彼等夫婦の間の氣不味い狀態をボールに感知させずに濟んだのである。裕次の神經過敏な事は藍子に劣らなかつた。從つてそれから來る我儘も癇癪も同樣なのであつたが、然し彼は近頃中々其點に自ら工夫を加へて、必要に應じて能く抑制するやうに成つて來た。彼は最近其處に著しい進境を示して來たのである。これは彼が自分のもつて居る事業を動かして行く上から、常に多くの人に接してそれを使ひこなして行かなければならないその彼の環境が、自然と其發達を導いたのでもあらう。けれども矢張藍子は其處に彼自身の苦心と努力の影を見免す事が出來なかつた。夫はずん〳〵進歩する。妻の自分も愚圖々々しては居られない。うつかりすると凡ての點で及び難い懸隔を見なければ成らなくなると思つた。裕次の自ら治める態度に比べて、藍子は自分を省ると、恥しかつた。愛の衝動にのみ身を委ねて、彼女はいつも、愛の惑亂に打克つた事はなかつた。一族の中の中央に位ゐする麻生の家の夫人としての彼女は、當然盡さなければならない一家の整理や支配や、親族間の交際、さうした物に對して完全ではなかつた。それも全然それに對しての可能力がなくつて如何努めても是以上は出來ないと云ふのなら、藍子は反つて夫程自責の念に打たれないで濟んだかも知れない。けれども自分

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の成し盡さない原因は自分が愛の惑亂に打克たない所から多く出る事を思ひ、而して其成し盡さないと云ふ事が裕次に一つも利益を及ぼして居ない事を思ふと苦しかつた。藍子は又其成し盡さない自分に對して身體が弱いから、幾分普通と違つた性質で特異者なのだから、と云ふ理由の下に、周圍が與へて呉れて居る寛容と忍耐とを思ふと濟まなかつた。周圍の眼には藍子のする事の結果丈が映る。其處迄動いて行く藍子の心の作用の一々は解らない。それ丈に尙周圍としては許容し難いのを忍んで居て呉れるのであつた。藍子が誰よりも〳〵一番濟まなく思ふのは、離れて住んで居る姑のお直にであつた。お直の氣象としては如何にか彼女の嫁である藍子をもつとしつくりと麻生の家の家風に合せるやうに、自分の手で一々直して仕込みたいであらう。或時には嫁としての存在を藍子に許して居るのすら、彼女の寛大の一つであらねばならない程に、凡てに彼女自身を抑へて居て呉れるお直の心を思つて、藍子の眼には涙が溜る事があつた。而して其涙が溢れて、彼女の膝の上に一顆の眞珠がまろび落ちる時、藍子の心は人知れず、

「御母樣濟みません。」と詫びるのであつた。

藍子は彼女の半面の生活の爲に種々な物を抛つて顧みなかつた。常識の備つた淑女・賢夫人の稱號、或る一部の人達との友情、さうした物を、彼女は失ふが儘に任せて、一つも惜まなかつた。其等の凡てに併せて、尙彼女の欲しい一つの物を贖ひ得る程には、彼女の現在の可能力は豊富でないのを、藍子は自分で能く知つて居た。

「可いのです、それでも、仕方が有りません。けれどもお姑樣に御苦勞を掛けるの丈は、眞に濟まない。」

飾窓覗き

—クリスマス近き街の賑ひ—

▲賣出しの赤い旗が往路をいろどり、人々の足の歩みのあわたゞしさを思はせるクリスマスと年の暮が、もう人の心をせき立てる樣になつた。銀座の通りをそゞろ歩きながら、店の飾り窓をざつと覗いて見る。何と云つても明るいのは玩具屋である。來年の干支にちなんだ馬の玩具が勢力を得て、どこの店にも木製や練物の馬が店頭にさらされてる。次はサンタのお爺さん、頭振り人形がおどけた目玉を剝いて、こくり〳〵をする。黑い犬の頭の愛らしさ、猫も猿も凡て動物は好かれるものである。お値段を一寸當つてみると、何れも五十錢以內、押繪の羽子板は二圓三圓それ以上きりも無い事であるが、近頃流行で惜しげが無いのは燒繪である、廿五六錢から四五十錢。

▲目を轉じて同じ美しい色彩で飾られた明治や龜やへ這入る。クリスマスにちなんだ玩具が山の樣に賑つてる。スタンキングは十六錢位からある。チヨコレートの飾り小箱が十五錢以上から、クラツカーは今年未だ荷が著かないのではつきりとは分らないが、幾分高くなつて七八十錢であらうといふ事であつた。何にしても玩具に菓子を附け加へたものが一番もてるのは事實である。もつと實質向の洋物店では、石鹸、紙メリヤス物で、襯衣は一圓五六十錢、手袋は綿カシミヤが七十五錢以上、絹は二圓位迄である。其他靴下、手巾、子供の帽子、靴足袋など、五十錢から一圓四五十錢位で立派に間に合ふ物が多い。

▲文房具屋は子供の好きさうな手帳や鉛筆など組んで、三十錢組五十錢位で賣つてる。色チヨーク、萬年筆、カード筆入、葉書箱、小倉百人首や明治天皇御製のかるたなど、却々に賑つて悅ばれ、且つ紀念になる品が見當る。

傾聽す可き 貴重なる言葉（四）

愛城生

「卓絶したる偉人の心を眞に了解せんと欲せば、唯々に彼が發する言葉に耳を傾け彼れが考ふる如くに考ふるのみならず、正に眞理に對して彼れが感ずる如くに感ぜざる可からず」

——ヂヨン、ラスキン

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□海軍大學行幸　天皇陛下には廿九日海軍大學に行幸遊され、卒業式に臨御相成りました。

□澄宮第二御誕辰　二日は澄宮崇仁親王殿下第二御誕辰日に付、宮中にて御祝ひありましたが、殿下には長くし御體量三貫六十六匁に渡らせられ、普通强健兒平均體量二貫八百四十匁を御超過あらせられ、御身長もお高く二尺六寸五分に達せらるゝ由でムいます。

□東宮遞信事業御見學　皇太子殿下には二日午後江戸橋、中央電信局へ行啓、次で中央電話局へ行啓あり、最後に中央郵便局へ御成り、夫々御見學遊されました。

□ヴェ市長へ日本刀　我天皇陛下より佛國ヴェルダン市長に賜り給へる日本刀の贈呈式は、二十九日巴里に於て行はれ、松井大使から同市長に授けられたさ外電は報じました。

◉東宮御眞影汚瀆事件　廿七日海軍省の公表した處に依りますと、軍艦韓崎の艦長室に奉掲してありたる皇太子殿下の御眞影に少部の汚損あるを十五日發見し、取調べの結果艦長ボーイの原田九郎が過つて毀損したるものゝ如く呉鎮守府軍法會議に於ての審理中であるとの事です。

◉巴里會議の結果　聯合國の態度を明かにする上に最も重要なるものと看做されてゐた巴里會議は、十一月末開かれましたが其結果は聯合國内の親密を更に增進し、陸海軍作戰上の統一、潛航艇對抗の方策、聯合與國中の小邦に對する財政上の援助等の諸問題を熟議し、日本に對しては豫て傳へられたる歐洲出兵の如き不可能の問題を持ち出さなかつたと外電は報じて居ります。

◉支那新内閣漸く成立　段内閣辭職後、後繼内閣難なりし支那は、一日正式に王士珍を總理とする内閣の組織を見ました。然し南方派は王内閣にも反對でありますから未だ支那政局の前途は樂觀を許しませぬ。

◉過激派凋落の兆　ケレンスキー政府を轉覆したレニン一派の露國過激派政府は、獨逸と休戰を策して居りますが、全露農民大會はレニン派に反抗し、西比利亞はオムスク市に獨立政府を組織すると傳へられ、早くも過激派凋落の兆が見えて來ました、富豪の住宅に雜居をさせたり、殆んど强奪をも許さんとする樣な政府は、決して多數健全なる露國民の喜ぶ處ではありません。平和は既に戰爭に倦んだ彼國民の希望する所でありますから、近く單獨講和の實現を見るかも知れませんが、過激派は長く主權を掌握しては居りますまい。必ず革命の本道に歸つて中堅分子の手に依り、新露國が建設されるでありませう。

◉露國廢帝亡命說　四日着合同通信倫敦電報に依れば、露國ニコラス廢帝は哈爾賓を經て日本へ逃れたさの說があるさうです。然し恐らく虛說であらうさ思はれます。

◉タチアナ姬來朝の噂　西比利亞に佗しき日を送らるゝ、露國廢帝の第二女タチアナ姬が、露國を脫出して、米國へ赴くさの事は外國電報に依つて報ぜられた處でしたが、東京某新聞は、卅日の午後新情報に同姬らしき男裝の美姬を發見した事を報じ、他の新聞には同日頃朝鮮釜山より門司に着いたしたらしいさ報道するなど近頃珍らしい噂を立て、居ります。然し何うやら人違ひらしうござ います。

◉哈爾賓へ警官隊出動　北滿洲哈爾賓の秩序紊亂し在留日本人(一千餘)不安の爲め領事館の警察官增加の必要ある爲め、長春領事館より警部補一名巡査十名武裝して、二日出發哈爾賓へ向つたと傳へられます。

◉飛行界　△海軍航空隊附飛行將校海軍大尉飯倉貞造氏は、海軍大學航空科を卒業し、今回歐米へ航空研究の爲め出張仰付けられました　△海軍省では矢さ佐世保に新飛行隊を增設する爲め來議會に其豫算を提出する由　△醫界を退いた岸博士が私財を投じて經營する赤羽飛行場は諸工場の建築地均し等が竣工したので一日午前同飛行場で開場式を擧行しました。

◉煙草の値上實現　豫て噂されてゐた官營煙草の値上は、一日附官報で發表、即日より實施されました。値上率は平均一割七分にて、敷島は十錢より十二錢に、大和は九錢より十一錢に、朝日は八錢より十錢になりました。之に依り政府は一年約一千萬圓の增收を見る事となります。

◉正貨十億七千萬圓　十一月三十日現在の我國正貨總額は十億七千六百萬圓で、海外現在六億千四百萬圓、内地現在四億六千百萬圓だと申します。

◉田村智利公使赴任　新任智利駐劄公使田村七太氏は一日靜洋丸にて横濱を出で遠く任地に赴きました。

◉支那記者團來る　上海なる神州日報主筆余洵氏以下十二名の上海記者團一行は、一日入京後各新聞社を訪問し視察をしました。

◉池田蕉園女史逝く　豫て重態を傳へられてゐた閨秀畫家池田蕉園女史は一日午前十一時、三十二歳を一期として逝去されました。

◉增田博士の逝去　元鐵道院技監錦鷄間祗候工學博士增田禮作氏は、心臓病にて廿七日朝逝去されました。

◉お札博士の歸米　昨冬來朝し内地及び朝鮮の旅行をなし居たるスタール博士は三日横濱發の春洋丸にて歸米の途に就きました。

◉顯官喪秘の惡例を矯めん　有位在官又は帶勳者が死亡し、陞敍の内申を要する場合、特に喪を秘する惡例がありますが、卅日大日本醫師會總會にて之が矯正を圖る意味の決議がありました。

◉授業料の値上　總ての物が値上される時勢に促され、東京府では來年度府立中學校及び高等女學校の授業料を三圓(現在は二圓五十錢)に値上する由です。

◉支那公使夫人の招待會　永田町

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の支那公使館では、三日午後草公使夫人彦安子の東洋婦人會入會披露の茶話會が開かれ、關係名士及夫人等多數集ひ、大いに日支親善の實を擧げました。

◉矯風會の慈善市　月島の風水害罹災者救濟の爲め、基督敎婦人矯風會では、四日月島第一小學校前で慈善市を開き、衣類布團等の古物九千點の大安賣をいたしました。

◉名物の國技館燒失　十一月廿九日午前一時三十分兩國なる國技館内洋食店の火消壺より發火し、同三時迄に大鐵骨館を全燒し、回向院も類燒いたしました。損害は國技館百二十萬圓、回向院十萬圓位との事。國技館は十三萬圓の保險が附してあり、直ちに再築に掛る由、向ふ二ヶ年間は春夏の大角力は九段招魂社境内で催される事になるとの事です。

◉神戸郵便局燒失　卅日午前五時頃神戸郵便局電信線より出火し、二時間にて本館及附屬建物四棟を全燒しましたが、郵便物に被害なきも損害は約三百萬圓と註せられます。

◉未曾有の電車椿事　一日午後一時頃の事、市内三宅坂で宮内省へ納入の五間長さの大角材を載せた車力が梶を誤つた爲め、青山より上野行の電車に材木が突入して乘客二名を即死せしめ、七名の重輕傷者を出した椿事がありました。

◉山陽線の汽車大衝突　三日午前七時過廣島驛より約十哩なる上瀨野信號所附近にて、上り列車は同避線終點なる車止を突破して岸壁に衝突し、死者二名重輕傷者廿數名を出しました。

◉女ばかりの展覽會　一日から十日迄白木屋の三階に女ばかりの繪畫展覽會が開かれました。出品者中には理學博士田中館愛橘氏の愛孃にて、目下札幌に新家庭を營まるゝ美稲子さんや、有島生馬氏夫人信子さん、田邊至氏夫人みさをさん、その他吉田ふじを、尾島菊子、津田さし子、植原久和代、有馬さゝ尾、龜高ふみ子女史等素人玄人打交つて、華かな色を見せて居ります。

個人消息

▲麻生永子（日本女子大學校學監夫人）急性腎臟炎にて入澤内科入院中

▲矢島楫子　守屋由子女史を伴ひ、北陸地方に半月の遊説を試みたる矢島老刀自は、三十日歸京

▲渡邊たみ子（京都大學教授夫人）過般上京、實家新渡戸家に滯在中。

編輯室より

▲長井博士の「女子に獨創乏しき所以」は、誠に同情に富んだ警告であると存じます。博士の如きは眞に終始一貫して、我が婦人の向上を冀つて居らるゝ方で、この一篇は古武士の如き確き節操に、文明の洗禮を受けられた紳士の嗜みが見えて、尊く思はれます。熟讀玩味して、互に進歩の鍵を發見いたしたいものであります。▲この夜な〳〵の星の美しいこと、遲く迄編輯室にたてこもる宵などは、電氣を消して、硝子戸越しに大空を眺めつゝ、二千年の昔、羊牧者の群れが、喜びの音信を聞いた夜も、こんなであつたらうと忍びます。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります、但しこれは依賴者が至當と思はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい、面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内（電話番町四五六六番）

人事相談所

婦人週報
（毎週金曜發行）

定價表

△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ヶ月（四部又は五部）金二十錢
△三ヶ月（十三部）金六拾錢
△半年（廿六部）金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料

△特等（表紙の二、四）金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の内側）金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用には必ず一割増の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼印刷人　東京市京橋區銀座四丁目一番地　小橋三四子
印刷所　福音印刷株式會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

弊店の特色
御召 織式 縞染
△古手物モ新規同樣ニ相成候
△出來期日ハ最モ正確且ツ迅速ヲ旨ト致シ候
△御註文ノ際ハ御一報次第早速店員御伺御用命ニ應ズベク候
中澁谷六百十八番地
（玉川電車通西郷邸前）
百足屋染物店
平田孫太郎

診察
午前九時—正午
午後六時—九時
但シ日曜祭日ハ休
大學青年會醫院
本郷區追分町
五十三番地
電話小石川一七七八番
醫學士　河田茂
醫學士　藤本武平次
顧問　各科醫學士數名

十七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察　月、金、木午前及（木）午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ケ谷見附内）
電話番町　六二番

東洋内科醫院

院長　醫學博士　高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

大黒天印　赤　白

宮崎葡萄液

宮崎葡萄液ハ「アルコール」分ヲ含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料

大小數種化粧箱
商品切手調進仕候

宮内省御用達
東京市日本橋區通旅籠町
發賣元　甲斐產商店
電話浪花八七〇、八七一

英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にしても英語初歩より學ばれんとする者にも懇切に教授す　ピアノノ個人教授ノ需めに隨ず）

英語專門私立　櫻井女塾
本郷區彌生町三番地（電話下谷六八一五番）

家庭衛生講習會

一、目的　家庭に必要なる衛生及衛生マッサージを教授す。
一、場所　赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部内。
一、期間　自一月十六日至二月十五日月水金午時二時より四時迄。
一、講習科　金十圓也前納の事。
一、人員　十名を以て定員とす。
一、證書　講習修了者には修了證書を交付す。
一、特典　講習修了者は會員として隨意に傍聽又は研究する事を得。
一、主催　婦人矯風會本部。
一、講習主任　醫師藤井孝。

右御希望の方は至急赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部（電話芝一七五三）に申込まれたし。

耳鼻咽喉科專門

大野耳鼻咽喉科醫院

（入院隨時）
院長　大野喜伊次
東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五

◎產婦人科◎小兒科

宅診午前　往診午後
病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ

院長　女醫　吉岡彌生

東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町二二五七

東京至誠病院

產科、婦人科、小兒科

女醫　井出茂代

東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院

○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
（電　京　二二三一番）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□クリスマス贈物□

須藤曉風著

僞らざるの記 續篇

眞生活

（愈發賣）

四六判百餘頁
定價貳拾六錢
郵税四錢

本書は著者の信仰生活に於ける僞らざる告白にして傳道上最適當なると共に同じ信仰生活にあるものゝ好伴侶たるものなり

内容一般

□生活の根抵
□パンの問題
□信仰と現生活
□迷信打破
□生ける信仰
□本來の目的
□合理的信仰
□善き戰の生活
□勝利の人生
□不偏の信仰
□我が信仰と慣例
□祝福の生活

發行所 東京銀座尾張町 東京京橋區 警醒社書店 振替東京五五三番

會員募集

裁縫手藝

個人教授

冬季講習

詳細會則郵券貳錢を要す

東京市麹町區上六番町七番地

私立 大妻技藝學校

電話番町 一一二〇番

齒科診察

府下千駄ケ谷町五百六十三番地

齒科醫學士 大久保透

シンガー裁縫院 生徒募集

●和洋服刺繡（東京有樂町一ノ五）

●ミシン專修

●毎月五日迄入學

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

進物

クリスマスにも、歳暮にも之が適當。

最も効果があつて、安全なのは、

ライオン洗石鹸で

御座います。

ライオン洗石鹸は品質が最も優れてゐますから、絹物をお洗ひになりましても、決して布地をいためるやうなことなく、又色摸様の大事なお召物をお洗ひになりましても、決して色の褪せるやうなことはありません、尚ほ麻織物、毛織物類のお洗濯にも至極適してをります。

無代進呈

『洗濯の栞』

東京本所外手町

ライオン齒磨本舗　小林富次郎

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十二月一日より

歳暮大賣出し

一日より

○羽子板陳列會

○女流洋畫家作品展覽會

○寄切れ見切反物大賣出し

十日より

○正月用品陳列會

○雜貨見切品賣出し

商品券、鰹節券、銘茶券

御贈答用に最も御便利

金壹圓以上箱入調進

白木屋呉服店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA